

千葉県議会議員〈我孫子市選出・無所属〉会派「千翔会」幹事長

水野ゆうき

ゆうき 2017年 水野ゆうきは県政・議会・議員の見える化を推奨しています。

Can Change! ブログ <http://ameblo.jp/yuukimizuno/>

Facebook 水野友貴

twitter @yuukitten

県議会・活動報告 vol.23



2月定例会議に引き続き、6月定例会議でも一般質問に登壇しました。30分の質問時間（全議員一律30分）の中で、我孫子市・千葉県の発展を念頭に、引き続き諸課題の進捗を質しました。

1. 手賀沼終末処理場の仮設テント内にある指定廃棄物、9月末までに建屋内へ全量移設完了！

千葉県に対し、手賀沼終末処理場に保管されている下水汚泥焼却灰の指定廃棄物について質問。

水野ゆうきの質問

手賀沼終末処理場内に一時保管されている下水汚泥焼却灰の建屋内への移設について、現在の状況と今後の予定はどのようになっているか。

千葉県の答弁

県では、指定廃棄物である1キロあたり8,000ベクレルを超える下水汚泥焼却灰約542トン、国のガイドラインに従い適切に一時保管し、さらに安全面を考慮して保管容器の密閉化、二重化などの措置を講じてきた。

平成28年度に地元からの要望を受け、仮設倉庫内の焼却灰約370

トンのうち、約186トンを建屋内へ移設した。残り約184トンの焼却灰については、今年度5月に業務委託契約を結んだことにより本年9月末までに建屋内への移設が完了する見込みとなった。移設が完了すれば焼却灰の建屋内への移設が全量完了することとなり、今後も国の長期管理施設が設置されるまでの間、適切に一時保管していく。



2. けやきプラザ、土地利用に関して我孫子市との協議を続け、公衆無線LAN設置も我孫子市と協議へ！

県と市の複合施設であるけやきプラザの今後のあり方について質問。

水野ゆうきの質問

けやきプラザの土地利用について、我孫子市との協議状況と今後のスケジュールは？

千葉県の答弁

けやきプラザの土地利用料について、本年1月に我孫子市長から要望書が提出され、4月から我孫子市と話し合いを始めている。今後もこれまでの経緯を踏まえながら、引き続き話し合いを続けていく。

※現状の契約では「土地は我孫子市のものであるが、我孫子市民も利益が享受できる」という観点から千葉県は地代に関しては無償、となっていますが、土地使用貸借契約書の第7条に「貸付期間の初日から10年を経過したときは、この契約内容について協議することができるものとする」と明記されていることから、けやきプラザ用地の契約形態について使用貸借契約から賃貸借契約への変更に関する協議を実施したい旨の要望書を我孫子市長から千葉県に提出しています。

水野ゆうきの質問

けやきプラザに公衆無線LANを設置できないか？

千葉県の答弁

公衆無線LANは新たな通信インフラとして公共施設では主に観光拠点等に設置が進められている。けやきプラザへの公衆無線LAN設置については他の県有施設の設置状況等を踏まえて、我孫子市とも協議していく。

水野ゆうきの要望

けやきプラザは災害時に大規模集客施設や駅等で保護された帰宅困難者の一時滞留施設となっている（市内の主要駅である我孫子駅の利用客等が帰宅困難に陥った場合、けやきプラザを一時滞留施設として開設することとなっており、これは平成25年5月14日に我孫子市長と森田

知事の間で「災害時における施設利用の協力に関する覚書」を締結）。災害時の帰宅困難者の一時滞留施設において公衆無線LANが整備されていないと二次災害にもつながるためネット環境の整備は必要不可欠であるという観点から、我孫子市との協議を進めて実現していただきたい。



3. 我孫子駅構内のエレベーター設置と成田線増発に向けて積極的に要望!

〔我孫子駅構内のエレベーター設置〕

国土交通省は鉄軌道及び鉄軌道車両におけるバリアフリー化の推進を掲げており、1日当たりの平均的な利用者数が3,000人以上の鉄軌道駅に関しては平成32年度までに原則として全てについて、段差の解消、視覚障害者の転落を防止するための設備の整備等の移動等円滑化を実施することになっています。

現在、我孫子駅の1日平均利用者数は規定の10倍の3万人で、高齢者や障がいをお持ちの方、またベビーカー利用者の移動が困難な

状況です。更に我孫子駅は成田線の始発・

終着駅であることから、大きな荷物を抱えて成田空港を利用する海外渡航者や海外から来日する方も、我孫子駅を利用しています。我孫子市の玄関でもある我孫子駅の構内エレベーター設置に関して、県としてもJRに働きかけるよう要望しました。



〔成田線の増発〕

今後、人口減少が進展していく中で、成田線沿線の活性化は魅力ある街づくりに欠かせない最重要課題であり、その為にまずは成田線の本数を増やし交通利便性を向上させていくことで、若い世代も成田線沿線に住む、という選択肢が生まれます。



更に、地元住民の長年の要望が実り、平成26年から工事を行っていた新木駅の駅舎・自由通路が完成し、本年1月24日に竣工式が執り行われ、新しい新木駅は、ホームと改

新木駅駅舎改修竣工式にて挨拶

札を結ぶエレベーター、南北口にはエスカレーター・エレベーターが整備され、誰もが利用しやすい駅に生まれ変わりました。

一方で成田線は20年以上増発されていません。千葉県に成田線の我孫子～成田間の増発について認識を質問したところ、千葉県は、沿線自治体が駅の橋上化や駅前広場の整備など魅力あるまちづくりを進めることに加え、列車の増発が行われればより一層地域活性化が図られるものと考えていることから、県としてもJRに対して列車の増発を働きかけていく、という見解を示しました。

更に市町村と連携した要望活動については、市町村と県で構成する「千葉県JR複線化等促進期成同盟」等あらゆる機会を通じて、県としても粘り強く働きかけていく、という答弁を得ました。

〔上野東京ライン（常磐線直通列車）増発〕

上野東京ラインの朝と夕方の増発に関するご意見を利用者からいただいております。水野ゆうきは2月予算委員会、6月議会の一般質問で鉄道問題を取り上げていました。

JR東日本は2017年10月14日に上野東京ライン（常磐線直通列車）の増発、常磐線特急の利便性向上、混雑緩和を中心としたダイヤ改正を実施することを決定しました。

〈上野東京ライン増発のうち成田線直通列車の増発〉

・夕通勤時間帯に『品川発成田行』が3本から6本。

※これにより品川発17時台～22時台に成田線直通列車が毎時1本。

※品川発となったことにより上野発成田行は少なくなります。

【改正前】

品川発	東京発	上野発	我孫子発	成田発
16:48	16:57	17:04 (17:03)	17:45	18:31
17:47	17:56 (17:57)	18:02 (18:03)	18:41	19:27
18:27	18:37	18:43 (18:44)	19:32	20:17

【改正後】

品川発	東京発	上野発	我孫子発	成田発
17:36	17:46	17:53 (17:54)	18:41	19:27
18:33	18:44 (18:42)	18:50 (18:49)	19:32	20:17
19:32 (19:33)	19:42	19:49 (19:48)	20:36	21:21
20:32	20:41	20:48	21:36	22:15
21:32	21:41 (21:42)	21:48	22:40	23:21
22:24	22:33	22:39 (22:40)	23:23	0:02

※()は土休日の時刻です。

(2017.7.7現在)

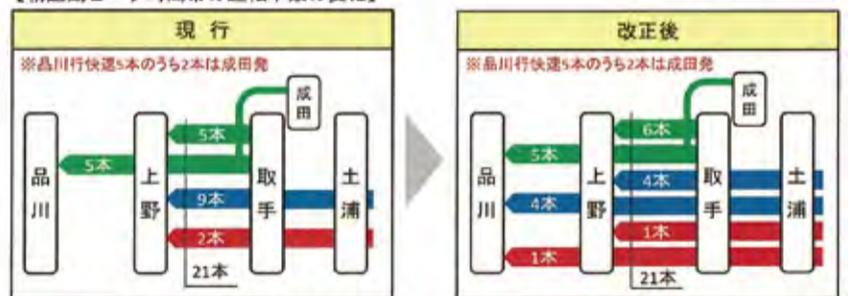
※我孫子～成田間の運転本数に変更はありません。

品川方面への利便性が大きく向上することとなります。

(1) 早朝・朝通勤時間帯

- ・早朝時間帯に土浦方面からの普通列車2本を品川へ直通運転
- ・朝通勤ピーク時間帯の常磐線上り列車は21本中10本の上り列車(特急1本、土浦方面からの普通列車4本、快速電車5本)が品川行となります。品川行の快速電車のうち2本は成田始発。

【朝通勤ピーク時間帯の運転本数の変化】

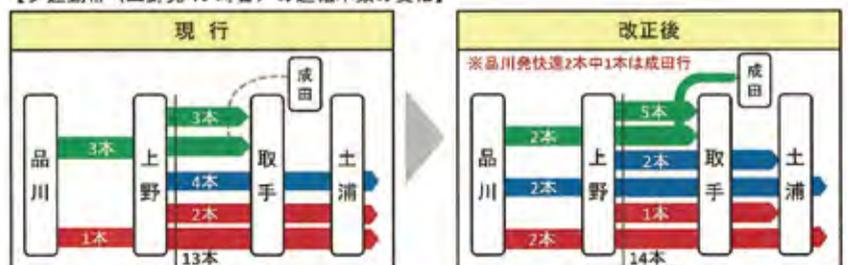


凡例 ■:特急 ■:土浦方面からの普通列車 ■:快速電車

(2) 夕・夜間帯

- ・上野駅17時台から22時台までの常磐線下り列車は、1時間当たり6本の列車(特急2本、土浦方面への普通列車2本、快速電車2本)が品川始発となります。
- ・品川始発快速電車は毎時1本を成田行きで運転。

【夕通勤帯（上野発19時台）の運転本数の変化】



凡例 ■:特急 ■:土浦方面への普通列車 ■:快速電車

4. 障がい者施策：特別支援学校在校生、企業側へのさらなる支援充実を！



民間企業、国、地方公共団体は、「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき、法定雇用率に相当する数以上の障がい者を雇用しなければならないこととなっています。一般の民間企業2.0%、特殊法人等は2.3%、国・地方公共団体は2.3%、都道府県等の教育委員会は2.2%という基準があります。

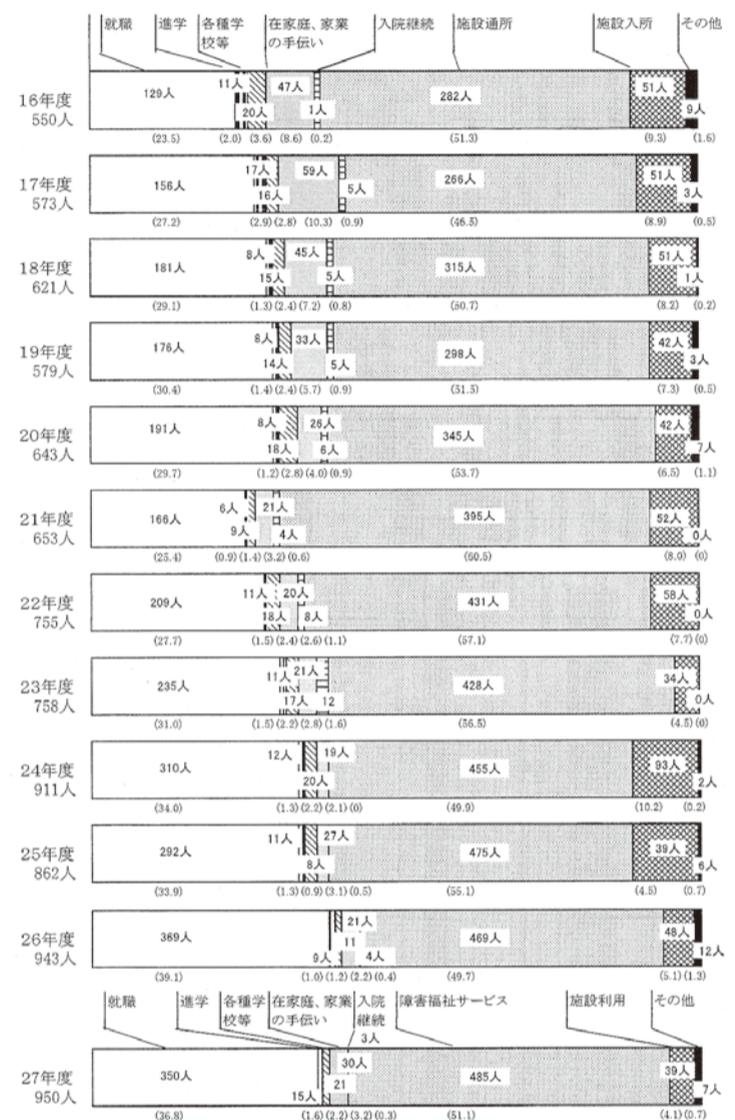
千葉県における民間企業の実雇用率は1.86%で法定雇用率達成企業の割合は51.1%。千葉県内の法定雇用率未達成の企業は1049社となっており、障がい者雇用の促進を図るために特別支援学校や事業主、関係機関と連携をし、障がい者雇用支援施策を実施していくことが肝要です。

更に、厚生労働省は5月30日、企業に義務付けている障がい者の法定雇用率を引き上げることを決めました。まずは民間企業は来年4月に現在の2.0%から2.2%に引き上げ、その後、障がい者の就労環境の整備状況を見つつ、2020年度末までに2.3%にする計画となっており、国や地方自治体、独立行政法人についても、現在の2.3%から来年4月に2.5%に引き上げた上で、20年度末までに2.6%にします。都道府県の教育委員会も同様に、現在の2.2%をまずは2.4%に引き上げ、その後、2.5%にしていく中で、事業の継続のみならず新しい分野やアイデアでの就労支援が必要です。

【千葉県の取り組みと答弁】

- 「個別の教育支援計画」に基づき、進路指導主事や終了支援コーディネーターが中心となり、障がい者就業・生活支援センターやハローワークなどの就労支援機関等と連携しながら一貫した支援を行い、卒業後の生活へ円滑な移行に努めている。
- 中学部や高等部の生徒に対して、企業等の見学、数日間の体験実習、就職を前提とした実習などを通し、就労に向けた知識や技能を段階的に積み重ね、一人一人の適正にあった進路を選択できる取り組みを進めている。今後も特別支援学校を卒業する生徒が積極的に社会参加できるよう、卒業後の状況把握や相談も含めた支援に努める。
- 障害者高等技術専門校を設置し、障がいのある人が企業での就労に必要な技術を習得するための職業訓練を実施。
- 企業と障がいのある人や特別支援学校との交流会・相談会の実施。
- 企業支援員事業として、企業等を訪問して職域の開拓や職場への定着支援を行う企業支援員を県内16すべての障害保健福祉圏域に配置し、特別支援学校と連携。今後とも障がいのある人と雇用する企業双方の支援に努めていく。

【公立特別支援学校高等部本科卒業生の進路状況】



5. 児童生徒に平等なICT教育の環境整備を！

教育のIT化に向けた文部科学省の「第2期教育振興基本計画」で目標とする整備水準に対して、千葉県の整備状況は低い状況です。そこで先の2月議会予算委員会で、ICT教育の充実としてのタブレット型端末の整備において、県として市町村への財政支援を求めたところ、国の「教育IT化に向けた環境整備4か年計画」に基づいて平成26年度から4年間で講じられている地方財政措置の活用を各市町村教育委員会に働きかける、という答弁にとどまっています。

既に地方公共団体間でICT教育の格差が拡大しているという指摘もある中で、水野ゆうきはこのグローバル化した情報社会の進展に伴い、国が推進するICT教育は不可欠であると捉えています。教育はすべての児童生徒に平等であるべきで、地域によってICT教育の格差は生じてはならないと考えています。引き続き、県単独で全県的にICT教育の地域格差が財政面で生じないように働きかけていきます。



第2期教育振興基本計画の整備水準	千葉県の状況	我孫子市の状況
教育用コンピューター1台あたりの児童生徒数…3.6人以下	全校平均 約7.8人	全校平均 約7.5人
電子黒板整備率…1学級あたり1台	16.2%	1学級あたり0.29台
超高速インターネット接続率…100% (30Mbps以上)	78.6%	0% (10Mbps回線は100%)
無線LAN整備率…100%	48.5%	100%
校務用コンピューター…教員1人1台	88.8%	教員1人1台

6. 水野ゆうきは政務活動費の全面公開を推進します!

〔政務活動費の全面公開について最大会派・他が反対し不採択〕

千葉県議会最大会派の自民党、他2名の議員の反対により以下の請願が不採択となりました。

- 請願第51号 政務活動費収支報告書等のホームページ上での公表を求める請願書
- 請願第52号 政務活動費収支報告書等を電磁的媒体でも交付することを求める請願書

水野ゆうきは政務活動費の全面公開を訴えており、この請願の紹介議員でした。この請願は水野ゆうきを含め、民進党、共産党、市民ネット・社民・無所属等5会派が名を連ね、公明党も賛成しました。水野ゆうきは引き続き、政務活動費のインターネット上等での全面公開に向けて賛成の立場で働きかけていきます。

〔水野ゆうきの平成28年度の政務活動費 収支報告〕

〈千葉県議会の政務活動費〉

議員個人分

【水野友貴個人】

〈毎月35万円×12か月〉

支給額：計4,200,000円 — 支出額：2,455,255円

= 残余額（返還額）：1,744,745円

会派分

【千翔会（所属議員2名）】

〈毎月一人当たり5万円×12か月〉

支給額：計300,000円（※平成29年1月1日結成のため、2名×5万円×3か月分）

— 支出額：0円 = 残余額（返還額）：300,000円

※「千翔会」を結成したのが今年の1月1日。会派の部屋が完成したのは2月議会後でした。2月議会中はまだ一人会派の控室にあり、事務用品等を含め、すべて自分の所持品を使用し、控室に移動したのが3月であったため、会派分の政務活動費を使うことなく、**全額返還**しました。

「千翔会」結成前の「我孫子無所属の会」では、4月から12月まで交付された会派分の政務活動費は45万円（5万円×9か月）。我孫子無所属の会として政務活動費に充てた金額は153,126円（確定）で、**解散に伴い296,874円を返還**しました。

水野ゆうきの活動

〔各大学で講義〕 水野ゆうきは学校で若い世代の政治参加を促しています。



東洋大学

約250名の学生に「政治とメディア」について講義。SNSの発達により、様々な情報が行き交う時代。メディアリテラシーの大切さを講義。



千葉大学

枠にとらわれずに社会を変えていくキャリア形成について、政治家、官僚、NPO法人の3名の講師により講義を行いました。



慶應義塾大学

講義の際、我孫子市PR動画の制作を提案し、我孫子市の協力のもと、各グループが何度も我孫子市を散策し、自分たちで動画を制作。学生が主体となって記者会見を行うなど、街づくりに新しい形で参画するような授業を行いました。



〔高校生と田植え〕

つくば松実高等学校の皆さんと我孫子市で田植え作業を行い、お米作りの工程を学び実際に体験することで農家の皆さんに感謝する気持ちを培います。



〔千葉県を代表する女性政治家としてサミットでスピーチ〕

ヒルトン東京ベイにて千葉県を代表する女性議員として世界中・日本中の幹部が集まるサミットにてスピーチを行いました。

〔朝の駅頭（朝練）〕



県議会議員となっても、市議時代と同様に議会毎に駅にて議会報告を行っています。

千葉県議会所属団体
水野ゆうきプロフィール

役職 千葉県議会議員（会派「千翔会」幹事長、総務防災常任委員会委員）

◎千葉県立我孫子・湖北特別支援学校後援会顧問、手賀沼水環境保全協議会顧問、一般国道356号整備促進期成同盟顧問、松戸健康福祉センター運営協議会委員等

経歴 1983年2月19日生の34歳。我孫子市生まれ・育ち・在住。我孫子市立第四小学校入学、米国ロサンゼルス現地校編入、ロサンゼルスインターナショナルスクール編入、帰国後は茨城県私立茗溪学園中学校編入、同校高校卒、津田塾大学学芸学部国際関係学科卒。東証一部上場物流社入社（秘書部秘書課秘書グループにて6名の役員秘書担当）。民放テレビ局勤務（報道局経済部所属・BSフジLIVE『PRIME NEWS』担当）。2011年我孫子市議会議員選挙3位当選。市議時代に我孫子市のPR、情報行政、ネット・メディア戦略に注力し、我孫子市の魅力発信に寄与。2015年千葉県議会議員選挙当選。

『我孫子ゆうき部』（水野ゆうき後援会）部員大募集!

水野ゆうきの政治活動・地域活動を支援して下さる事務員・部員を募集しております。詳しくは水野ゆうきホームページ (<http://www.mizunoyuuki.com/>)、水野ゆうき Facebook までお気軽にご連絡ください。担当スタッフがご連絡させていただきます。